

## “令和時代の戒名(法名)”



令和の時代、お葬式のほとんどが、故人の最後のために何が出来るかを重点的に考えたものが多く行われています。

様々な個性豊かなお葬式が増え、それと同時に戒名も昔のように、菩提寺から授けられるだけではなく、故人の生き方を遺族が伝えて、戒名(法名)をいただくことが多くなりました。戒名(法名)にも故人の個性を出せるようになってきています。

戒名(法名)とは、俗世を離れて仏の弟子になったときにいただくお名前です。

現代では、仏教の色を一番大切にするより、故人の日常や積み上げてきたものを第一に考えた戒名(法名)が、選ばれることが増えてきました。

ハナブ商店では、ご紹介させていただいたお寺様に、戒名(法名)は故人様の生前の人柄などをご遺族様にお伺いし、ご遺族様から故人様への想いを、皆様に見えるお位牌の形として、最後に授けていただくようお願いしております。

“茨木市立斎場での家族葬は”



想いをかたちに…

株式会社ハナブ商店

大阪府茨木市寺田町 10-26 TEL:072-622-2222